

■公共図書館での実践事例

マルチメディアDAISY図書の活用と普及のための取り組み —特別支援学級におけるおはなし会での紹介を中心に

東京都墨田区立ひきふね図書館
田中 彩子

はじめに

墨田区立図書館では、1970年代から障害者向けのサービスを開始しました。障害者資料の貸し出しからスタートし、現在では、DAISY図書などの製作、障害者施設などへの出張貸し出しや個人宅への宅配、ボランティアの育成やスキルアップのための講習会の実施、さらには障害者向けサービスの普及啓発活動など幅広い活動を行っています。

今回は、区立小学校の特別支援学級で行ったマルチメディアDAISY図書の紹介を中心にお伝えします。

特別支援学級でのおはなし会

墨田区では、「墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）」に基づき、特別な支援を必要とする子どもの読書活動の取り組みを推進しています。

その一環で、2023年6月から、こと言問とい小学校にある難聴通級指導学級「きこえの教室」で、毎月1回放課後30分程度のおはなし会を始めました。担当の先生から事前にいただくテーマか

ら絵本を選び、図書館の障害児読み聞かせボランティア講習を受講したボランティアの方2名程度にご協力をいただき実施しています。

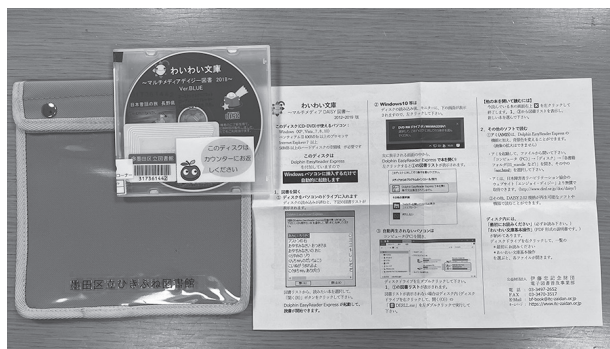
マルチメディアDAISY図書を 紹介するための事前準備

ひきふね図書館では、特別支援学級や通所支援事業所などに対し、団体貸出セット（りんごの棚）を定期的に貸し出しています。

きこえの教室へも貸し出しを行い、資料をより有効に使ってもらうため、11月のおはなし会でマルチメディアDAISY図書を紹介することになりました。テーマにはこだわらず、図鑑の要素があり、クイズ形式で楽しむことができる『どーこだ！！～海の中のかくれんぼ～』を選びました。

事前に、マルチメディアDAISY図書の各セクションの内容と所要時間を確認し、冒頭や最後にある説明や製作データのページを省略したうえ、図書館内でノートパソコンとプロジェクターを使用した投影のリハーサルを行

いました。



マルチメディアDAISY図書貸出セット

きこえの教室 11月のおはなし会

11月はクイズ、マルチメディアDAISY図書の紹介、絵本2冊の読み聞かせという順におはなし会が進みます。図書館職員がクイズを行っている間に、放映準備をしました。

耳と目で読書を楽しむデジタル図書ということを簡単に説明し、「隠れている生き物を一緒に探してくださいね」と呼びかけた後、『どーこだ！！～海の中のかくれんぼ～』の3つ目のセクション、コケギンポという生き物を探す場面から始めました。スピーカーから出てくる「どーこだ？」の声に、参加していた児童は、真剣な面持ちでホワイトボードを見つめます。すぐに「どこ？」「いた！」「真ん中！」など元気な声が上がりました。

生き物に興味のある児童は、毎回すぐに見つけていました。物語が進むにつれ、「3・2・1」とカウントダウン

しながら生き物がズームされていくことに気づき、見つけやすくなったようです。

投影の後、マルチメディアDAISY図書は、耳と目で読書を楽しむことができるデジタル図書であること、パソコンを使って特別なソフトウェアをインストールすることなく視聴できること、特別支援学級への団体貸し出しに対応していること、ひきふね図書館のこどもとしょじつに一部置いてあり、個人で借りることができることを伝え、紹介は終わりました。

おはなし会の最後に、先生が児童に、その日の感想を尋ねました。その日に見た絵本のほか、紹介したマルチメディアDAISY図書について話してくれた児童もいました。「思っていたよりも、見つけるのがむずかしかった。」という声も聞かれ、初めて見る、名前も知らない海の生き物がんばって探していた様子が伺えました。

マルチメディアDAISY図書を実際に見て知ってもらうことが大切ですが、図書館で見る機会はなかなかありません。今回のように学校で児童や先生に見てもらう取り組みは、マルチメディアDAISY図書を知る機会として有効であると感じました。

りんごの棚貸し出しセットに、マルチメディアDAISY図書を含めており、今後さらに活用してもらえよう学校

などの施設にPRしていこうと考えています。

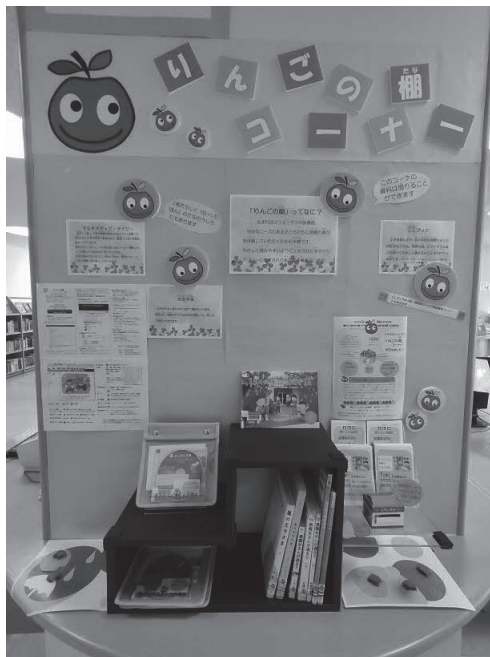


きこえの教室おはなし会

新たな啓発活動の試み

きこえの教室での取り組みのほか、今年度の新たな啓発活動として、ひきふね図書館こどもとよしつにりんごの棚コーナーを常設で設置し、障害者週間特別展示ではパソコン視聴を行いました。

りんごの棚コーナーは、特別なニーズのある子どもたちに読書の喜びを知ってもらうため5月から設け、点字絵本、LLブック、大活字本およびマルチメディアDAISY図書を季節に合わせて選んでいます。

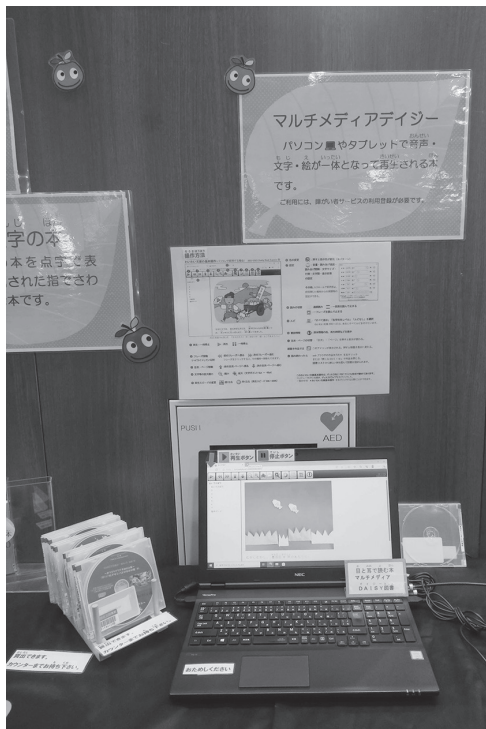


こどもとよしつ りんごの棚コーナー

マルチメディアDAISY図書は、障害の有無にかかわらず利用できるよう伊藤忠記念財団が著作権者の許諾を得て配布している「わいわい文庫」のVer. BLUEを展示し、一般の利用者でも借りることができるように配慮しています。

障害者週間に合わせた特別展示では、これまで、マルチメディアDAISY図書を展示していますが、ひきふね図書館のデジタルサイネージで『ももたろう』や自館作成の『梅若伝説』などを放映してきました。今年度は新たに、ノートパソコンを設置し、「わいわい文庫」のVer. BLUEを10枚ほど並べ、マルチメディアDAISY図書を実際に視聴できるようパソコン操作方法を掲示し

ました。来館者が実際に再生スピードやハイライトの色を変更し、聞きやすさと見やすさを調整することができます。



障害者週間 展示の様子

さいごに

学校が夏休みに入ると、読書に困難のある子どもの保護者から、読書感想文を書くための本選びについて相談を受けることがあります。紙の本を読むことが困難な子どももいるため、読書に親しむための選択肢の一つとして、マルチメディアDAISY図書を紹介しています。

学校がマルチメディアDAISY教科書を用意してくれたという話を保護者からお聞きしたことがあり、夏休み前に学校にマルチメディアDAISY図書を紹介することも効果が期待できます。

読書に困難を抱える子どもが、本を楽しむことができるよう、マルチメディアDAISY図書やその使用方法について、個人や学校などの施設に機会を捉えて周知をしていきたいと考えています。

